

NISAではじめる株式投資！

# 間近に迫るIoT時代を リードする銘柄に注目



大和証券

Daiwa Securities

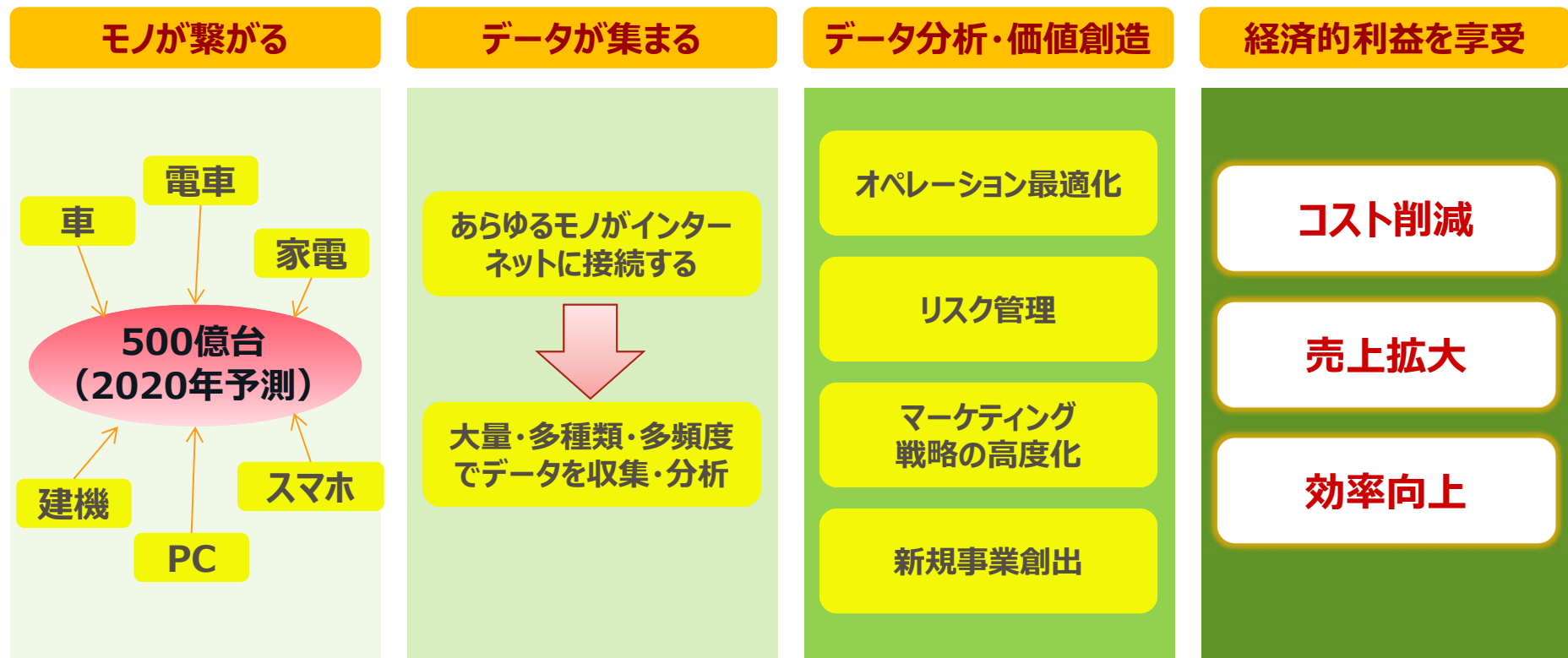


本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。

# IoTとは？

「Internet of Things」の略、「モノ」自らが情報を発信・受信し動作する技術や概念を指す

## IoTによってもたらされる価値創造のイメージ

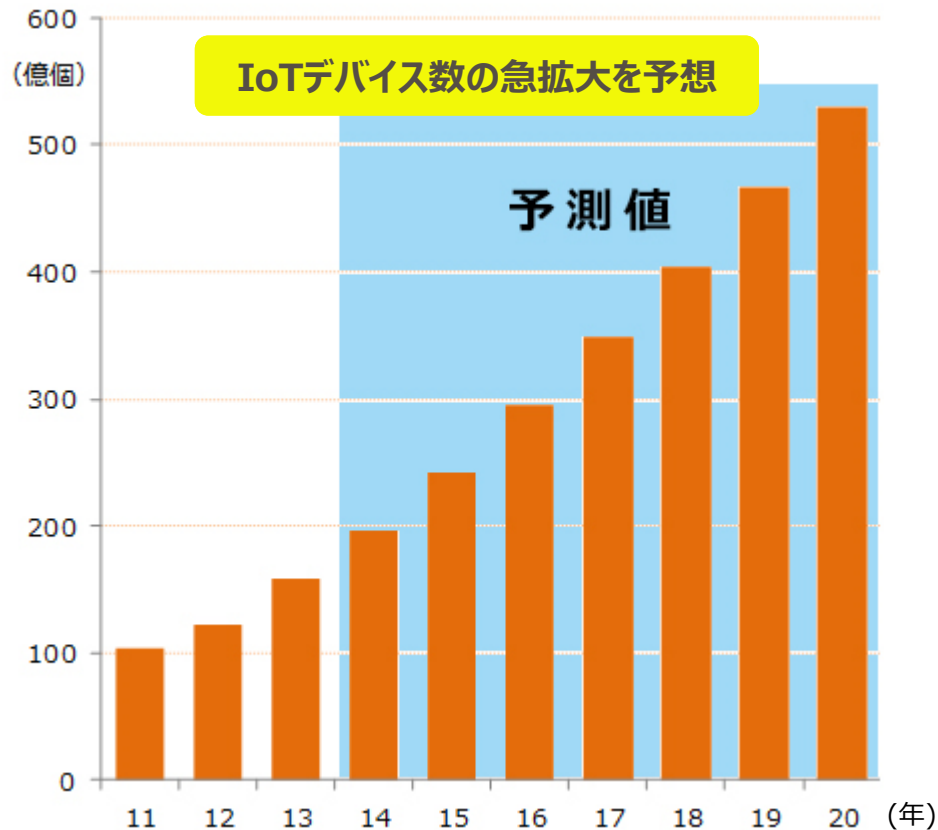


(出所) 各種資料より大和証券作成

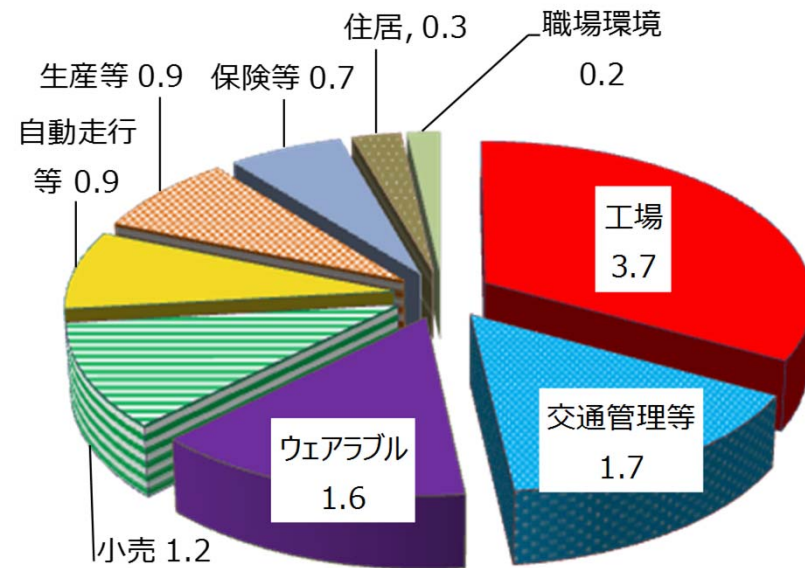
# IoT社会の到来が間近に迫っている

## IoTデバイス数と経済への影響について

### インターネットにつながるモノの数の推移・予測



### IoTのマクロ経済への影響 (単位: 兆ドル)



2025年までに最大で年間11.1兆ドルの世界経済波及効果が見込まれている

(出所) 総務省「スマートIoT推進戦略」資料より大和証券作成

# 各産業でIoT需要が高まると予想されている

## (主体別) 世界のIoT売上需要の推移

### ★2018年 4.59兆ドル

銀行	製造業	小売	ヘルスケア	輸送	公共財	政府	その他
1,540 億ドル	9,130 億ドル	3,260 億ドル	3,130 億ドル	3,250 億ドル	2,010 億ドル	5,700 億ドル	1.79 兆ドル

### ★2014年 2.29兆ドル

銀行	製造業	小売	ヘルスケア	輸送	公共財	政府	その他
920 億ドル	4,720 億ドル	1,600 億ドル	1,320 億ドル	1,560 億ドル	1,000 億ドル	3,010 億ドル	8,770 億ドル

(出所) IDC internet of things spending guide by vertical market 2014 より大和証券作成

本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさいようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。

# 参考銘柄一覧

## IoTの需要拡大で注目される国内銘柄

銘柄名	銘柄コード	証券の種類 優先市場	売買単位	株価	PER (倍)	ROE (%)	平均	時価総額 (億円)	予想1株 当たり配当	予想配当 利回り (%)
							(05年~)			
三菱電機	6503	普通株 東証1部	100株	1,615.5 円	16.47	10.85	10.16	34,688	27円	1.67
オムロン	6645	普通株 東証1部	100株	4,875 円	22.66	10.07	7.60	10,430	68円	1.39
ソフトバンクグループ	9984	普通株 東証1部	100株	9,097 円	11.46	46.01	23.35	100,127	44円	0.48
日立製作所	6501	普通株 東証1部	1,000株	689.4 円	14.03	8.11	1.78	33,322	12円	1.74
ファナック	6954	普通株 東証1部	100株	21,655 円	32.88	9.49	12.08	44,189	361円	1.67

※NISA年間限度額内で単位株の買い付けはできません

(2017年06月30日現在)



注) 12カ月先予想PERは予想EPSを基に算出。当会計年度と翌会計年度の予想EPSを、帰属会計年度の日数で加重平均して算出。予想はBloomberg

(出所) Quick、Bloombergより大和証券作成

本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。

# 三菱電機 (6503)

株価	1,615.5円	52週高値	1,802.0円	52週安値	1,108.0円
予想PER	16.47倍	予想配当利回り	1.67%	時価総額	3.5兆円

## 3つのポイント

### ①産業メカトロニクス事業が収益の柱

重電、総合電機大手。FA機器、自動車機器のほか、電力、鉄道、昇降機、宇宙システム、パワー半導体、空調システムが注力事業である。

### ②IoTで早期に売上1,000億円規模へ

ハノーバーメッセ2017において、2017年3月に発表したスマート工場向け「FA-ITオープンプラットフォーム」を披露。生産現場とITシステムを簡単につなぐ基盤を提供する。

### ③攻めの姿勢を打ち出した宇宙分野

2017年4月鎌倉製作所に新棟を建設し人口衛星の生産能力を8割増強すると発表。世界で需要の膨らむ同市場に対応していく。IoTを活用しコスト削減も図る。

## 株価推移（週足）



(出所) Bloombergより大和証券作成

# オムロン (6645)

株価	4,875 円	52週高値	5,120 円	52週安値	3,045 円
予想PER	22.66倍	予想配当利回り	1.39%	時価総額	1.0兆円

## 3つのポイント

### ① 電子機器大手

電子部品や車載部品、健康器具も手掛ける。  
収益の柱は、工場などにおける自動化、省力化  
最適化を支援するためのFA向け制御機器である。

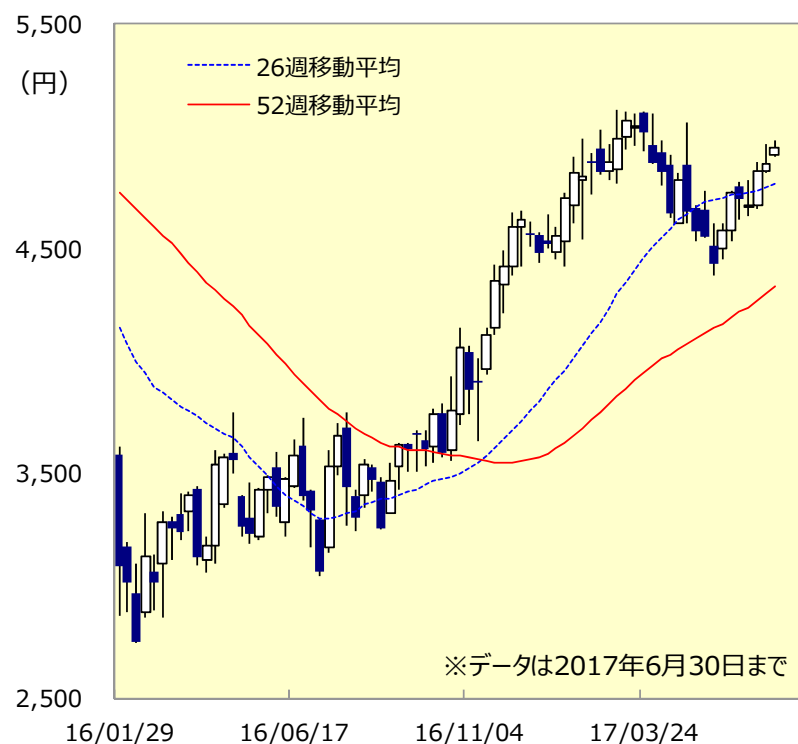
### ② FA機器にAI/IoT技術を導入

同社は強みを持つマシンオートメーションコントローラーなど  
各種FA機器にAI/IoT技術を2020年までに順次搭載し、  
熟練技術者の不足などの解決に取り組んでいくと表明。

### ③ 好財務内容も同社の魅力

同社はバランスシート上に1,000億程度の現金を保有し、  
かつ有利子負債がゼロのキャッシュリッチ企業。営業キャッシ  
ュフローは安定しておりROEも10%以上をキープしている。

## 株価推移 (週足)



(出所) Bloombergより大和証券作成

# ソフトバンクグループ (9984)

株価	9,097 円	52週高値	9,521 円	52週安値	5,194 円
予想PER	11.46倍	予想配当利回り	0.48%	時価総額	10.0兆円

## 3つのポイント

### ① 半導体設計世界大手のARMを買収

スプリントを買収し世界大手の通信企業に変貌。2016年9月には半導体設計大手のARMを買収。更にビジョン・ファンドの創設を発表、IoT時代への布石を打った。

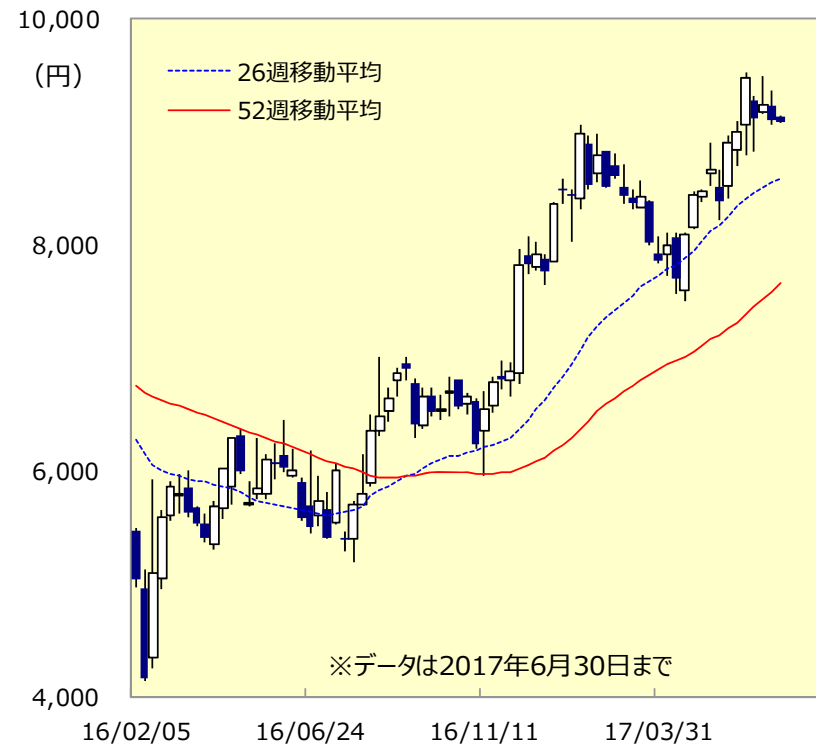
### ② IoT時代のプラットフォームを握る

ARMは半導体の技術・設計のライセンス企業、低消費電力設計の回路を世界の主要チップメーカーに提供。IoTで繋がる機器の急拡大が予想され優位性を活かせる立場。

### ③ 足元の業績推移は順調

直近の決算内容は堅調。国内通信事業の拡大に加え米スプリントの黒字化、ARM社の収益貢献が背景。スプリントの業績改善やシェア回復が株価のカタリスト。

## 株価推移 (週足)



(出所) Bloombergより大和証券作成



# 日立製作所 (6501)

株価	689.4 円	52週高値	699.7 円	52週安値	400.0 円
予想PER	14.03倍	予想配当利回り	1.74%	時価総額	3.3兆円

## 3つのポイント

### ①重電、総合電機で売上規模国内首位

情報通信、社会・産業インフラ分野が主力。構造改革による収益性改善を進めている。IoTプラットフォームLumadaを軸にしたデジタルソリューションが成長戦略の中核。

### ②IoTサービスの普及を睨み先手

同社は14に分けていた事業分野を「エネルギー」「産業・流通」「都市」「金融・公共」重点4分野に集約。2018年度までの2年間に1兆円を企業買収に振り向ける。

### ③Lumada (※) 関連受注額に注目

2017年4月に空気圧縮機世界大手サルエアーの買収を発表。シナジー効果の創出だけでなく、同社の取引先への働きかけを強化しLumadaの販売拡大に繋げる方針。

※同社が2016年に発表したIoTプラットフォームのこと

## 株価推移 (週足)



(出所) Bloombergより大和証券作成

# ファナック (6954)

株価	21,655 円	52週高値	23,410 円	52週安値	15,465 円
予想PER	32.88倍	予想配当利回り	1.67%	時価総額	4.4兆円

## 3つのポイント

### ①産業用ロボット世界大手

工作機械用NC（数値制御）装置の世界首位。  
産業用ロボットでも世界大手。全量国内生産、かつ自社製  
ロボットを多用した徹底的な生産の自動化が特徴。

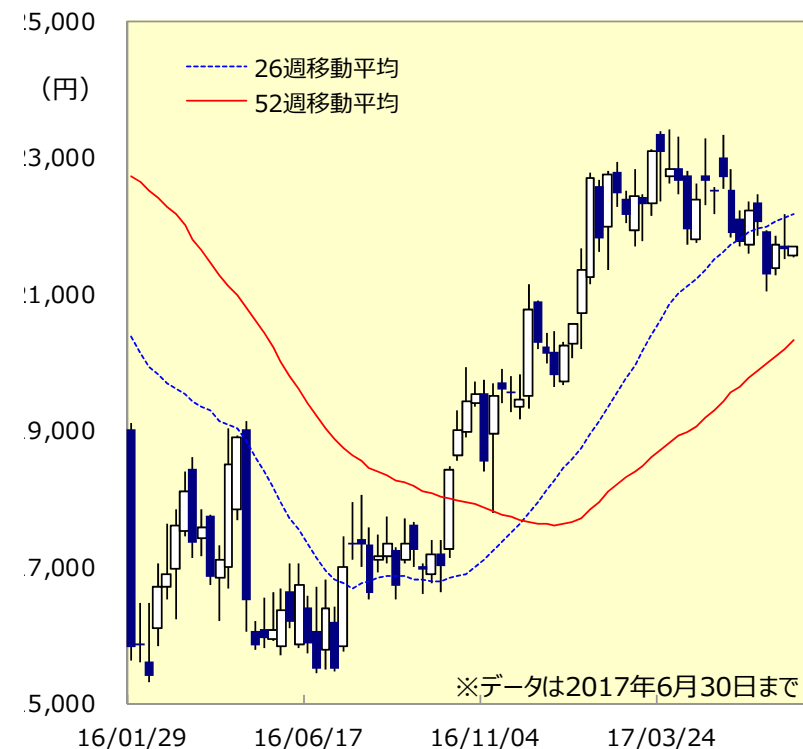
### ②工場用IoTサービスで日本代表へ

同社は2017年9月に異なるメーカーの工作機械をつなぐ  
「フィールド」システムをローンチする。生産システムのデファ  
クト化を視野に入れており業績への期待も高まっている。

### ③具体的な自社株買いのタイミングに注目

2015年4月27日の会社発表によると、「配当性向60%を  
基本方針とし、今後5年間の平均総還元性向80%の範  
囲内で、機動的な自己株式の取得を行なう」としている。

## 株価推移（週足）



(出所) Bloombergより大和証券作成

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200%（但し、最低2,700円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほか、為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。